# 廃棄される「お米」を活用した紙の新素材「kome-kami」を発売

~フードロス問題の解決を目標とし、売上の1%をフードバンクに寄付します~

## ●kome-kami(コメカミ)の3つの特徴

- 1. 企業や自治体が有償で廃棄するような災害用備蓄のお米などを活用します
- 2. フードバンクに売上の1%を寄付し、フードロス問題の解決を目標とします
- 3. SDGs が提唱する「持続可能な開発目標」の 12,13 のゴール達成に寄与します

株式会社ペーパル(本社: 奈良県奈良市、代表取締役: 矢田武博)は、廃棄されたお米を活用してできた紙素材「kome-kami」(コメカミ)を2021年2月に開発しました。2021年4月14日から応援購入サイト「Makuake」にてkome-kamiでできたノート・名刺の商品を販売します。有償廃棄される直前の災害用備蓄食品のお米や食べられないお米をパルプに配合しています。また、素材の売上の1%をフードバンクに寄付することで、フードロス問題の解決を目標とします。





## ●紙の特徴 ~ラフなのにしっとりした質感の紙~

紙そのもののもつ豊かな風合いにお米の質感が加わり、ラフでありつつもしっとりとした、相反する表面を実現しました。ずっと表面を触っていたい。そんな気持ちにさせられる独特な質感の紙です。色は採れたての艷やかなお米を思わせるナチュラルな白さとなりました。



# ●kome-kami 誕生の背景 ~ラフなのにしっとりした質感の紙~

現在、日本全体で年間 646 万トンにもおよぶフードロスが問題となっています。近年、企業や自治体が備蓄する災害用食品は増加していますが、その多くは利用されず賞味期限が切れて廃棄されます。これは、フードロス量の 646 万トンにカウントされてない廃棄となっています。

総務省東北管区行政評価局の 2019 年の調査(※1)によると、国の行政機関の 63.8%が廃棄しており、毎日新聞社のアンケート(※2)によると、全国 47 都道府県と 20 政令都市で 2010 年から 2015 年で 3 億円にのぼる備蓄食料を廃棄しています。

企業や自治体はイベントにおいて配布したり、フードバンクなどと連携したりして活用を模索していますが、全てが活用しきれるわけではありません。また、自治体関係者によると、特に今年はコロナ渦によるイベント中止によって増加しているようです。このような廃棄される食材のうち、多くの割合を占める「お米」に着目しました。廃棄されるコストを価値あるものに変換し、フードバンクに寄付をすることでフードロスを削減すべくkome-kamiを開発いたしました。

### ●今後の展開

今後は、持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みの一環として、企業や自治体での活用を広げます。具体的には、パンフレットや封筒、名刺や紙袋・箱、ノベルティグッズとしてのノートなどを、kome-kami に変更していただくことを想定しています。また、kome-kami を印刷・加工会社へも広く販売することで取り組みを広げます。さらに、全国のフードバンクへ広く支援ができるような仕組み作りも進めて行きます。





つくる責任、つかう責任

廃棄される米や非食用米を紙製品として 再活用することで米の食品ロスを削減 し、循環型社会づくりへ貢献します。



気候変動に具体的な対策を

廃棄が増加している災害用備蓄米を紙製品 として再活用することで紙の原材料である 森林資源を無駄にしません。

## ●株式会社ペーパルについて

1890 年(明治 23 年)に奈良で創業して以来、130 年に渡って紙の販売を通じて紙文化を支えています。2008 年に FSC®/COC を取得して以来、「紙」という循環可能な素材を社会に提供し、脱プラスチックを視野に入れた素材の啓発活動を行うことで、SDGs への取り組みを推進しています。

SDGs の取り組みをさらに拡大させるため、2020 年 4 月より、フードロス問題の解決を目指すための企画を行う「ロスチェンジプロジェクト」を社内で立ち上げ、その第一弾の商品として「kome-kami」を開発しました。

#### 【会社概要】

会社名:株式会社ペーパル

所在地 : 奈良県奈良市池田町 76-7

代表者 : 矢田 武博 資本金 : 3,000 万円

創業: 1890 年(明治 23 年) 事業内容: 紙や紙製品の企画・販売

WEB サイト: http://www.pepal.co.jp/



【本リリースに関する報道・お客様からのお問い合わせ先】

《問い合わせ先名称》

TEL : 0742-46-4446

FAX : 0742-62-5506

e-mail : yada-k@pepal.jp

【URL】 製品サイト: https://foodlosspaper.com/kome-kami

製品サイト URL



※1:総務省:災害備蓄食料の活用の促進に関する調査~食品ロスの削減を中心として~ https://www.soumu.go.jp/kanku/tohoku/houdou\_190328.html

※2:災害備蓄食料 176万食を廃棄…5年間・17自治体(毎日新聞 2016.3.24 付 https://mainichi.jp/articles/20160325/k00/00m/040/137000c